

令和9年度

福島県立医科大学大学院保健科学研究科
保健科学専攻（博士後期課程）

学 生 募 集 要 項

公立大学法人
福島県立医科大学

保健科学研究科保健科学専攻博士後期課程 アドミッション・ポリシー

● 求める学生像

1. 保健科学の各専門領域における高度な知識と研究の技術を修得し、教育・研究者や臨床専門職者を牽引し、地域医療や社会の発展へ貢献する人
2. 社会が抱える保健・医療・福祉に関する課題に対し深い関心を持つ人
3. 自身の専門領域のみならず、関連分野について幅広く学び、国際的・学際的な視点で医療における諸課題を自ら発見し研究する意欲と、そのために必要な知識や思考力を持つ人

安全保障輸出管理について

福島県立医科大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき「公立大学法人福島県立医科大学安全保障輸出管理規程」を定めて、貨物の輸出、技術の提供、人材の交流の観点から、学生の受入れに関して、厳格な審査を実施しています。

2022年5月「外国為替及び外国貿易法」の一部改正による「みなし輸出」における管理対象者の明確化に伴い、機微技術の提供において学生が特定類型該当性を有する場合には管理対象となりますので、本学への出願者全員に対して「外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び第2項の遵守のための特定類型該当性に関する確認書兼誓約書」の提出が必要です。

本要項添付の「外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び第2項の遵守のための特定類型該当性に関する確認書兼誓約書」をご確認いただき、該当結果をご記入の上、出願書類とともにご提出ください。

※日本国籍の方を含め、一般選拔出願者全員「外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び第2項の遵守のための特定類型該当性に関する確認書兼誓約書」の提出が必要になります。

※一部の学生においては、入学手続き前に「誓約書」の提出が必要となる場合があります。

※該当結果によっては、希望する研究活動に制限がかかる場合や、教育が受けられない場合がありますので、出願前に希望する分野の指導教員に相談するなど、出願にあたっては注意してください。

目 次

【大学院保健科学研究科保健科学専攻（博士後期課程）学生募集要項】

1 募 集 人 員	1
2 入 試 日 程	1
3 出 願 資 格	1
4 出願資格審査	2
5 出 願 手 続	3
6 入学者選抜方法	5
7 試験期日、時間及び試験場	6
8 受験時の注意事項	6
9 合 格 者 発 表	6
10 入 学 手 続	7
11 入学手続上の注意事項	7
12 個人情報取り扱いについて	7

【大学院保健科学研究科保健科学専攻（博士後期課程）の概要】

1 目 的	8
2 構 成	8
3 授業科目の概要等	8
4 学 位 の 授 与	8
5 奨 学 金 制 度	8
6 授業料等減免制度	8
7 長期履修制度	8
8 問合せ先及び大学案内図	9

別表1 授 業 科 目	10
別表2 授業科目の概要	11
別表3 各研究領域の指導教員連絡先	12

【本研究科所定の様式】

入学願書、写真票・受験票、志望理由書、特定類型該当性に関する確認書兼誓約書、実務活動経歴書、受験許可書、健康診断書、出願資格審査申請書、研究・実務活動歴、払込取扱票等（郵便局）（以上綴じ込み）

入学願書等送付用封筒、受験票送付用封筒

令和 9 年度 福島県立医科大学大学院保健科学研究科 保健科学専攻（博士後期課程）学生募集要項

1 募 集 人 員

専 攻 名	領 域	募 集 人 員
保 健 科 学 専 攻	理学療法学領域 作業療法学領域 診療放射線科学領域 臨床検査学領域	10名 一般選抜・社会人選抜・外国人留学生選抜 の合計。 選抜区分ごとの人数は定めません。

※本専攻の概要はP 8をご覧ください。

※出願の際は本学ホームページ等で最新の状況をご確認ください。

2 入 試 日 程

	冬 期 選 抜 試 験
出願資格審査申請期間	令和 8 年11月 6 日(金)午後 5 時まで
出 願 期 間	令和 8 年11月13日(金)午前 9 時～ 令和 8 年11月20日(金)午後 5 時
試 験 期 日	令和 8 年12月20日(日)
合 格 発 表	令和 9 年 1 月 8 日(金)

3 出 願 資 格

入学者選抜は、一般選抜及び社会人選抜、外国人留学生選抜を実施します。

出願できるのはいずれか一つであり、出願後に選抜区分を変更することはできません。

ア 一般選抜

- 1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- 2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- 3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- 4) 我が国において、外国の大学院相当として指定された外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- 5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- 6) 大学を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者
- 7) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者

イ 社会人選抜

保健・医療・福祉施設、教育研究機関、官公庁又は企業等において専門的な実務経験を有し、かつ一般選抜試験の出願資格1)～7)のいずれかに該当する者とする。

ウ 外国人留学生選抜

一般選抜試験の出願資格1)～7)のいずれかに該当するほか、以下の全ての要件を満たす者とする。

- a) 出入国管理及び難民認定法第2条の2項別表第1の「留学」の在留資格を有する者又は有することとなる者
- b) 日本語について、以下のいずれかの試験において所定のレベルの認定又はスコアを有する者
 - ① 公益財団法人日本国際教育支援協会及び国際交流基金が実施する日本語能力試験(JLPT) N2以上の認定を受けていること。
 - ② 独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験(日本語(読解、聴解及び聴読解の合計))において200点以上取得していること。
 - ③ 公益財団法人日本漢字能力検定協会が実施するBJTビジネス日本語能力テストにおいて400点以上取得していること。
 - ④ 一般社団法人日本語能力試験実施委員会が実施するJPT日本語能力試験において525点以上取得していること。
- c) 英語が第一言語でない国を国籍とする留学生の場合、英語についてCEFR B1以上のレベルを有する者

4 出願資格審査

「3 出願資格」の一般選抜及び社会人選抜、外国人留学生選抜の(6)及び(7)による出願資格審査申請手続きは以下のとおりとする。

(1) 申請期間

冬期選抜試験 令和8年11月6日(金)まで

受付時間：午前9時から午後5時まで(土曜日、日曜日、祝日を除く。)

郵送による場合は書留郵便とし、申請期間内必着とします。

(封筒表面に「大学院(博士後期課程)出願資格審査申請書在中」と明記すること)

(2) 提出先(郵送または持参)

〒960-8516 福島県福島市栄町10番6号

福島県立医科大学 保健科学部事務室 入試・企画係

(福島駅前キャンパス1階 教務関係事務室)

電話 024-581-5508(直通)

(3) 提出書類等

① 一般選抜、社会人選抜、外国人留学生選抜共通の提出書類

申請に必要な書類	提出区分	作成方法
出願資格審査申請書	(6)・(7) 必須	・本要項添付の用紙を用いてください。 ・必要事項を記入してください。
成績証明書	(6)・(7) 必須	・最終学歴として記載した学校等の長が発行し厳封したもの。
最終学歴の学校に関する資料	(6)・(7) 必須	・入学資格、卒業要件、修業年限、カリキュラム等が記載されている資料を提出してください。

申請に必要な書類	提出区分	作成方法
在学中の学校の在学期間を証明する書類	(6)のみ	・在学中の者のみ提出してください。
卒業（見込）証明書	(7)のみ 必須	・最終学歴として記載した学校等の長が発行し厳封したもの。
研究・実務活動歴	(7)のみ 必須	・本要項添付の用紙に直接記入するか、本様式に準じてパソコン等により作成してください。 ※現在行っている研究活動または実務活動に関する内容、成果等を詳細に記載してください。 ※活動の有無に関わらず、必ず提出してください。
主な論文、研究発表等の写し（該当する者）	(7)のみ	・業績として学術論文、著書、研究発表等を有する者は、提出してください。
出願資格審査結果通知 送付用封筒	(6)・(7) 必須	・長3封筒に住所、氏名及び郵便番号を明記し、410円分の切手を貼ってください。

（注1） 婚姻・通称利用等により、卒業（見込）証明書等と現在の姓が異なる場合は、旧姓を証明する書類（戸籍抄本等）を同封してください。

（注2） 上記のほか、必要により別の証明書等を求めることがあります。

（4） 出願資格審査の方法及び結果の通知

提出書類により総合的に判断し、出願期間までに資格審査結果を郵送により通知します。

5 出 願 手 続

本専攻を志願する場合は、出願する前（出願資格認定申請を行う場合は、その前）に、所属を希望する研究領域の指導教員に必ず連絡を取り、今後の教育・研究について相談してください。

（1） 出 願 期 間

冬期選抜 令和8年11月13日（金）～令和8年11月20日（金）

受付時間：午前9時から午後5時まで（土曜日、日曜日を除く。）

郵送による場合は書留速達とし、出願期間内必着とします。

（2） 提出先（郵送または持参）

〒960-8516 福島県福島市栄町10番6号

福島県立医科大学 保健科学部事務室 入試・企画係

（福島駅前キャンパス1階 教務関係事務室）

電話 024-581-5508（直通）

（3） 提 出 書 類 等

次の書類を本要項添付の封筒に一括して入れて提出してください。

ただし、出願資格審査において提出している書類は、再度の提出は不要です。

① 一般選抜、社会人選抜、外国人留学生選抜共通の提出書類

出願に必要な書類	作成方法
入 学 検 定 料	・30,000円 - 検定料を郵便払込の後、受領した「郵便振替払込受付証明書（お客様用）」を「入学願書」の所定欄に貼ってください。 - なお、払込手数料は、出願者の負担となります。
入 学 願 書	・本要項添付の用紙を用いてください。 ・必要事項を記入してください。
写 真 票	・本要項添付の用紙を用いてください。 ・必要事項を記入してください。 ・縦4 cm×横3 cmの写真（無帽、上半身正面、無背景、出願前3か月以内に撮影したもの）の裏面に氏名を記入し、所定の欄に貼ってください。
受 験 票	
志 望 理 由 書	・本要項添付の用紙に直接記入するか、本様式に準じてパソコン等により作成してください。
外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び第2項の遵守のための特定類型該当性に関する確認書兼誓約書	・本要項添付の用紙を使用してください。
卒業（見込）証明書	・最終学歴として記載した学校等の長が発行したもの。 ・「3 出願資格」の(2)による場合は、修士の学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書を添付してください。（ただし、本学保健科学研究科修士課程修了（見込）者及び出願資格審査において提出済みの場合は、提出不要です。）
成 績 証 明 書	・最終学歴として記載した学校等の長が発行し厳封したもの。（ただし、本学保健科学研究科修士課程修了（見込）者及び出願資格審査において提出済みの場合は、提出不要です。）
実 務 活 動 経 歴 書 【社会人選抜のみ】	・本要項添付の用紙に直接記入するか、本様式に準じてパソコン等により作成してください。
受 験 許 可 書 【社会人選抜のみ】	・現在在職中の者は、所属長の受験許可書を提出してください。 ・本要項添付の用紙を使用するか、勤務先の様式を使用してください。
受験票送付用封筒	・本要項添付の封筒（長3）に住所、氏名及び郵便番号を明記し、所定欄に410円分の切手を貼ってください。
成績を証明する書類 【該当者のみ】	・英語について、CEFR B1以上の成績を証明する書類を提出してください。（一般選抜及び社会人選抜の筆記試験（英語）を免除します）

② 外国人留学生選抜志願者の提出書類

上記①のほか以下の書類を提出してください。

出願に必要な書類	作成方法
健康診断書	• 本要項添付の様式を使用してください。
在留カード等の写し	• 在留カード、旅券など在留資格が記載されているものの写しを提出してください。
出身大学学長又は研究活動における指導教官等の推薦書	• 様式任意
日本語の成績を証明する書類	• 3「出願資格」の外国人留学生選抜の出願要件を満たす日本語の成績を証明する書類を提出してください。
英語の成績を証明する書類（英語が第一言語でない国を国籍とする留学生のみ）	• CEFR B1以上の成績を証明する書類を提出してください。

(注1) 婚姻・通称利用等により、卒業（見込）証明書等と現在の姓が異なる場合は、旧姓を証明する書類（戸籍抄本等）を同封してください。（ただし、出願資格審査において提出済みの場合は、提出不要です。）

(注2) 出願書類に不備がある場合は、受理しません。

(注3) 出願書類に虚偽があった場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

(注4) 一旦受理した出願書類及び入学検定料は、理由のいかんを問わず返還しません。

6 入学者選抜方法

(1) 一般選抜

筆記試験（英語）、口述試験、面接及び出願書類により総合して判定します。

なお、英語についてCEFR B1以上の成績を証明する書類を提出することにより、筆記試験（英語）を免除します。

(2) 社会人選抜

筆記試験（英語）、面接及び出願書類により総合して判定します。

なお、社会人選抜では実務活動経歴書を提出することにより、口述試験を免除します。

また、英語についてCEFR B1以上の成績を証明する書類を提出することにより、筆記試験（英語）を免除します。

(3) 外国人留学生選抜

口述試験、面接及び出願書類により総合して判定します。（口述試験、面接ともに日本語で実施）

(4) 評価内容、アドミッション・ポリシー（AP）との関係

筆記試験では、各専門領域に関する英文を出題し読解させることにより、主にAP1で求める専門領域に対する知識やAP3で求める研究・探究に必要な知識・思考力について評価を行う。

口述試験では、自身の研究についてのプレゼンテーションと質疑応答を行い、AP1で求める専門領域における高度な知識と研究の技術を修得し、他者を牽引する能力及びAP3で求める研究・探究に必要な知識・思考力について評価を行う。

面接では、志望動機や今後行いたい研究やその効果、修了後の展望等についての質疑を通じて、AP1で求める他者を牽引し地域医療や社会の発展への貢献の意識、AP2で求める地域社会の課題に取り組む意欲、AP3で求める研究推進への意欲等を評価する。

7 試験期日、時間及び試験場

期 日	科目名等	時 間	試 験 場
冬期選抜 令和8年12月20日(日)	筆記試験(英語)	午後0時40分～午後1時40分	福島県立医科大学 福島駅前キャンパス
	口述試験、面接	午後2時10分～	

※試験場の詳細及び集合時間等は受験票送付時に通知します。

8 受験時の注意事項

- (1) 試験当日は、受験票を必ず持参してください。なお、受験票を忘れた場合は、受付にその旨を申し出て、再発行を受けてください。また、入学手続の際に必要なので、試験後も大切に保管してください。
- (2) 受験者は、午後0時30分までに試験場に集合して受験に関する指示を受けてください。
- (3) 筆記試験開始後、20分以内の遅刻に限り受験を認めます。なお、この場合試験時間の延長は認めません。
- (4) 携帯電話等電子機器は、試験場に入る前に電源を切っておいてください。
- (5) 筆記試験(英語)では、英和辞典1冊(電子辞書を除く)の持込みを許可します。
- (6) 試験時の机上には、受験票、筆記用具、時計(計時機能だけのもの)及び英和辞典以外は置かないでください。
- (7) 試験妨害又は不正行為があったときは、直ちに退室を命じその後の受験は認めません。

9 合格者発表

合格者は、次の方法により発表、通知します。

なお、入学者選抜の可否に関し電話等による問い合わせには応じません。

- (1) 「合格者受験番号一覧表」の掲示による発表

次の日時、掲示場所において合格者の受験番号を掲示します。

【冬期選抜試験】

〈掲示日時〉令和9年1月8日(金) 午前10時

〈掲示場所〉福島駅前キャンパス 正面玄関横

- (2) 合 否 の 通 知

合格者には、合格通知書を速達で郵送します。

- (3) ホームページ掲載による参考発表

本学のホームページに合格者の受験番号を参考までに掲示します。

なお、これは参考掲示であるので、上記(1)、(2)のいずれかの方法とあわせて確認してください。

(本学のホームページのアドレス <https://www.fmu.ac.jp>)

10 入 学 手 続

下記に示す手続場所にて、手続期間内に入学手続を行ってください。（詳細は合格者に別途通知します。）

(1) 入学手続期間

【冬期選抜】令和9年1月8日(金)から令和9年1月15日(金)

受付時間：午前9時から午後5時まで（土曜日、日曜日、祝日を除く。）

郵送による場合は書留速達とし、手続期間内必着のこと。

(2) 入学料及び授業料

① 入 学 料 282,000円（予定額、入学手続時に納付）

② 授 業 料 年額535,800円（予定額、毎年4月、10月の2回で分納）

※入学料及び授業料については変更されることがあります。在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

※本学の大学院修士課程を修了後、引き続き博士後期課程へ進学する場合、大学院へ再度入学するものではないことから、入学料は徴収しません。

(3) 入学手続場所

〒960-8516 福島県福島市栄町10番6号

福島県立医科大学 保健科学部事務室 教務係

（福島駅前キャンパス1階 教務関係事務室）

11 入学手続上の注意事項

- (1) 受理した入学手続に要した書類等及び入学料は、理由のいかんを問わず返還しません。
- (2) 期限までに入学手続を完了しない者は、入学を辞退したものとして取り扱います。
- (3) 入学手続を完了し、入学を許可された者であっても、大学院等を修了（卒業）できない場合又は学士の学位を授与されない場合は、入学許可を取り消します。

12 個人情報の取扱いについて

出願の際に提出された入学願書等の書類に記載されている氏名、性別、生年月日、住所、その他の個人情報は、入学者選抜の実施、入学手続、入学後の奨学・厚生補導及び修学指導に関する業務を行うためのみに利用します。

大学院保健科学研究科保健科学専攻（博士後期課程）の概要

1 目 的

福島県立医科大学大学院保健科学研究科は、保健科学の発展に寄与することができる専門職者を育成するとともに、保健科学の創造と発展に貢献することを目的とする。

2 構 成

- (1) 課程及び修業年限
本専攻は、修業年限3年を標準とする博士後期課程です。
- (2) 授 業 科 目
別表1のとおり

3 授業科目の概要等

- (1) 授業科目の概要
別表2のとおり
- (2) 各研究領域の指導教員連絡先
別表3のとおり

4 学 位 の 授 与

博士後期課程に3年以上在学し、所定の授業科目について16単位以上を修得し、かつ学位論文を提出し、その審査および最終試験に合格することにより、博士（保健科学）の学位を授与します。

5 奨 学 金 制 度

大学院学生に対する日本学生支援機構の奨学金制度があります。
参照 日本学生支援機構 <https://www.jasso.go.jp/index.html>

6 授業料等減免制度

経済的理由により授業料の納付が著しく困難であり、かつ、学業成績優秀と認められる学生に対しては、申請により授業料等を免除できる場合があります。

7 長 期 履 修 制 度

学生が職業を有しているなどの事情により、本専攻の標準修業年限の3年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する旨を申し出たときは、その計画的履修を認めることができる長期履修制度を設けています。

8 問合せ先及び大学案内図

福島県立医科大学（福島駅前キャンパス）

住 所：〒960-8516 福島県福島市栄町10番6号

担 当：保健科学部事務室 入試・企画係

連絡先：TEL 024-581-5508

e-mail：h-nyushi@fmu.ac.jp



JR福島駅東口より徒歩5分

別表 1

授 業 科 目

授 業 科 目		単位数	区 分
共通科目	保健科学論	1	必修
	医療制度と地域課題	1	必修
	リハビリテーション教育学演習Ⅰ	2	自由
	リハビリテーション教育学演習Ⅱ	2	自由
専門基礎科目	理学療法学演習	2	選択
	作業療法学演習	2	選択
	診療放射線科学演習	2	選択
	臨床検査学演習	2	選択
特別研究科目	特別研究	12	必修

別表 2

授 業 科 目 の 概 要

区分	授 業 科 目	単位数	概 要
共通科目	保健科学論	1	本科目では、保健科学各領域を専攻する学生に対し、自身の専門領域に加えて人間の健康に関わる多領域の先端的知見や技術を体系的に学ぶことで、保健科学に関連する広範かつ統合的な理解を養う。これらの知識を批判的に検討し、新たな研究課題の創出へと発展させることで、特定領域にとらわれない革新的な発想力と論理的・創造的思考力を培う基盤となる科目である。さらに、産学官や多職種との連携を通じて研究成果を社会実装へと結びつける実践的研究力を高め、国際的にも通用する能力を育成する。
	医療制度と地域課題	1	本科目では、医療保険制度の知識や医療情報の活用方法のほか、県内や他の地域における医療に関する課題などの地域課題の解決に向けた背景情報について学び、研究に反映させる科学的思考力を育成する。
	リハビリテーション教育学演習Ⅰ	2	本科目は、教育学を学んでいない理学療法士・作業療法士等が、大学等のリハビリテーション専門職養成機関で指導的立場となるにあたって、教育者としての資質・能力を高めることを目的としている。 授業の前半は、教育学・教育心理学・教育方法学の基礎理論をもとに教育活動の作り方について学ぶ。授業の準備・設計だけではなく、学習者の動機づけや成長を促す方法についても検討する。授業の後半は、前半で学んだ教育活動の作り方を活かして、教育活動の模擬授業の計画・実行・評価を行う。この教育活動の模擬授業は、受講者が教育者・講師の立場となり、医療従事者をめざす学生に対して、専門的な内容を教授する「初学者を対象とした講義形式の授業」を想定している。模擬授業の担当となった学生は、各題材（リハビリテーションの理念やチーム医療等）について動画など授業に必要な教材を予め作成し、画面共有機能を用いて教材を提示しながら模擬授業を実践する。模擬授業終了後は受講者間で質疑応答及び討議を行い、担当教員が指導・評価を行うことで学修を深めていく。
	リハビリテーション教育学演習Ⅱ	2	本科目は、教育学を学んでいない理学療法士・作業療法士等が、大学等のリハビリテーション専門職養成機関で指導的立場となるにあたって、教育者としての資質・能力を高めることを目的としている。 授業の前半は、リハビリテーション教育に関する先行研究を検討し、最新の教育実践に関する知見を高める。授業の後半は、「リハビリテーション教育学演習Ⅰ」で学んだ教育活動の作り方を活かして、教育活動の模擬授業の計画・実行・評価を行う。この教育活動の模擬授業は、受講者が教育者・講師の立場となり、医療従事者をめざす学生に対して、専門的な内容を教授する「初学者を対象とした講義形式の授業」を想定している。模擬授業の担当となった学生は、各題材（車椅子シーティングや歩行評価等）について動画など授業に必要な教材を予め作成し、画面共有機能を用いて教材を提示しながら模擬授業を実践する。模擬授業終了後は受講者間で質疑応答及び討議を行い、担当教員が指導・評価を行うことで学修を深めていく。
専門基礎科目	理学療法学演習	2	本科目は、博士課程における理学療法学研究の深化と学術的自立を目的とする。受講者は各自の研究テーマに基づき、最新の国内外の学術論文や関連学問領域の知見を批判的に検討し、自らの研究課題に理論的背景と方法論を統合する能力を養う。さらに、国際的に通用する学術的発表力および論文執筆力を高めることを重視する。
	作業療法学演習	2	本科目では、作業療法学の発展に貢献する研究を行うための基本的な能力を身につけるため、演習形式による指導を通じて、現状の臨床的および学術的課題を的確かつ多角的に捉える論理的思考や、その課題を研究により解決するための研究技法、研究成果を適切に公表するためのプレゼンテーション技法、研究をさらに深めるためのディスカッション技法を学修する。
	診療放射線科学演習	2	本科目では、診療放射線科学の発展に貢献する研究を遂行するために必要な基本的な能力を身につけることを目的とする。演習形式による指導を通じて、最新の学術論文を精読・理解し、自らの言葉で紹介・発表する力を培う。その過程で、急速に進展する診療放射線科学領域における臨床的および学術的研究の内容を的確に把握し、現状における課題を明確に捉える視点を養う。さらに、課題を研究により解決するための研究技法について思考をめぐらすとともに、研究成果を適切に公表するためのプレゼンテーション技法や、研究をより発展させるためのディスカッション技法を学修する。
	臨床検査学演習	2	本科目では、臨床検査学の発展に貢献する研究を行うための基本的な能力を身につけるため、最新の論文を読んで理解して紹介をするといった演習形式による指導を行う。そして、飛躍的に進歩している臨床検査学分野での臨床的および学術的研究内容を的確に理解した上で現状での課題を明確に捉え、研究により解決するための研究技法への思考をめぐらすとともに、研究成果を適切に公表するためのプレゼンテーション技法、研究をさらに深めるためのディスカッション技法を学修する。
特別研究科目	特別研究	12	本科目では、理学療法学領域、作業療法学領域、診療放射線科学領域、臨床検査学領域における一つの研究課題に対し、先行研究の調査および現状の課題の把握、研究目的の設定、研究計画の立案、遂行から研究結果の考察、論文作成までの一連の流れについて、進捗状況の確認及び学生への研究指導を行う。

* 本表に記載の内容は変更になる場合があります。

* 出願の際は本学ホームページ等で最新の状況をご確認ください。

別表 3

各研究領域の指導教員連絡先

研究領域	職位	氏 名	研 究 分 野 等	メールアドレス
理学療法学領域	教 授	柴 喜崇	理学療法学、リハビリテーション医学、老年学、死生学、予防、アクションリサーチ	y-shiba
	教 授	森下慎一郎	リハビリテーション科学、理学療法、がん、内部障害、運動生理学、Patient Reported Outcome	morishit
	教 授	横塚美恵子	地域理学療法学、物理療法学、訪問リハビリテーション、電気刺激療法、足部形態	yokozuka
作業療法学領域	教 授	五百川和明	脳卒中リハビリテーション、作業時の心血管反応、脳卒中患者の機能予後・生活活動、等	iokawa
	教 授	林 博史	臨床精神医学、老年精神医学、認知症	hhayashi
	教 授	倉澤 茂樹	発達障害、特別支援教育、学校コンサルテーション	kurasawa
	教 授	曾根 稔雅	疫学、公衆衛生学、老年医学、介護予防	tsone
	准教授	藤田 貴昭	脳卒中リハビリテーション、運動機能回復、上肢機能、日常生活活動、予後予測法の開発	t-fujita
診療放射線科学領域	教 授	加藤 貴弘	放射線治療技術、放射線治療品質管理、粒子線治療、放射線管理	kato-ta
	教 授	高橋 規之	医用画像工学	takaha-n
	教 授	久保 均	磁気共鳴医学、核医学、放射線科学、分子イメージング技術学	kubo-h
	教 授	長谷川功紀	放射性薬剤学、組織化学、タンパク質科学、放射線科学	hkoki
	教 授	三輪 建太	核医学、放射線技術学	kmiwa
臨床検査学領域	教 授	宇月 美和	病理学、人体病理学、リウマチ・膠原病の病理、遠隔病理診断、細胞診断	muzuki
	教 授	豊川 真弘	臨床微生物学、臨床検査学	toyokawa
	教 授	北爪しのぶ	病態生化学、認知症生化学、癌生物学、糖鎖生物学、細胞生物学、バイオマーカー探索	shinobuk
	教 授	義久 精臣	臨床生理検査学、内科学（一般内科、循環器、消化器、呼吸器）	yoshihis

※各メールアドレス後の「@fmu.ac.jp」を省略してあります。

※出願の際は、各研究領域及び指導教員の最新状況を、本学ホームページでご確認ください。

令和9年度福島県立医科大学大学院保健科学研究科
保健科学専攻(博士後期課程)

入 学 願 書

受 験 番 号		※			
ふ り が な		生年月日	年 月 日		
氏 名		年 齢	歳	性 別	男 ・ 女
本 籍 地		(日本国籍の者は都道府県名を、外国籍の者は国名を記入)		現在本学に在学中の 学生の場合学籍番号 を記入	
選 抜 区 分 (いずれかに○)		一般選抜 ・ 社会人選抜 ・ 外国人留学生選抜			
出 願 資 格	大 学	昭・平・令 年 月		大学	学部 学科 中退・卒業・卒業見込み
	大学院	昭・平・令 年 月		大学大学院	研究科 課程 中退・修了・修了見込み
	その他				
希 望 領 域 (いずれかに○)		理学療法学領域・作業療法学領域・診療放射線科学領域・臨床検査学領域			
現 住 所		〒 - E-mail : 電話 - -			
通 知 先		〒 - 電話 - -			

注：① ※の欄は記入しないでください。
② 裏面の履歴書を必ず記入してください。

「郵便振替払込受付証明書（お客様用）」（入学検定料）貼付欄

横向きに貼ってください。

郵便振替払込受付証明書
(お客様用)

欄
付
貼

履 歴		
学 歴	年 月	高等学校卒業
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
職 歴	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
賞 罰		

注：① 履歴事項、賞罰については漏れなく記載してください。
② 学歴は高等学校卒業から記載してください。

令和9年度福島県立医科大学大学院保健科学研究科
保健科学専攻(博士後期課程)入学試験

写 真 票

写真貼付欄

正面・上半身・
脱帽像・無背景、
出願前3か月以内に
撮影したもの
(縦4cm×横3cm)

令和 年 月 日撮影

受験番号	※
ふりがな	
氏 名	
生年月日	昭和・平成 年 月 日
性 別	男 ・ 女

※欄は記入しないでください。

令和9年度福島県立医科大学大学院保健科学研究科
保健科学専攻(博士後期課程)入学試験

受 験 票

写真貼付欄

正面・上半身・
脱帽像・無背景、
出願前3か月以内に
撮影したもの
(縦4cm×横3cm)

令和 年 月 日撮影

受験番号	※
ふりがな	
氏 名	
生年月日	昭和・平成 年 月 日
性 別	男 ・ 女

- 1 試験日 令和 年 月 日
- 2 試験開始時刻 午後0時40分
- 3 試験場 福島県立医科大学
福島駅前キャンパス
- 4 注意事項
- (1) 受験票は試験当日必ず持参してください。
- (2) 試験当日は午後0時30分までに集合して
ください。
- (3) ※欄は記入しないでください。

令和9年度福島県立医科大学大学院保健科学研究科
保健科学専攻（博士後期課程）

志 望 理 由 書

氏 名			受験番号	※

注：① 本様式に直接記入するか、本様式（A 4判）に準じてパソコン等により作成してください。
② ※の欄は記入しないでください。

外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び第2項の

遵守のための特定類型該当性に関する確認書兼誓約書

公立大学法人福島県立医科大学理事長 殿

年 月 日

住所

氏名

私は、貴法人が「外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び外国為替令第17条第2項の規定に基づき許可を要する技術を提供する取引又は行為について」（平成4年12月21日付け4貿易局第492号。以下「役務通達」という。）の1（3）サ①又は②に該当する居住者に対して技術の提供を行う場合は、外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び第2項に基づき経済産業大臣の許可が必要になる可能性があることを理解し、貴法人の法令遵守のため、役務通達の1（3）サ①又は②に該当するか否かについて、下記のとおり誓約いたします。

記

私は、

- ☐ 以下の①に該当します。
- ☐ 以下の②に該当します。
- ☐ 以下の①及び②に該当します。
- ☐ 以下のいずれにも該当しませんので、誓約は不要です。

① 外国法令に基づいて設立された法人その他の団体（以下「外国法人等」という。）又は外国の政府、外国の政府機関、外国の地方公共団体、外国の中央銀行並びに外国の政党その他の政治団体（以下「外国政府等」という。）との間で雇用契約、委任契約、請負契約その他の契約を締結しており、当該契約に基づき当該外国法人等若しくは当該外国政府等の指揮命令に服する又は当該外国法人等若しくは当該外国政府等に対して善管注意義務を負う者（次に掲げる場合を除く。）

（イ） 当該者が本邦法人との間で雇用契約、委任契約、請負契約その他の契約を締結しており、当該契約に基づき当該本邦法人の指揮命令に服する又は当該本邦法人に対して善管注意義務を負う場合において、当該本邦法人又は当該者が、当該外国法人等又は当該外国政府等との間で、当該本邦法人による当該者に対する指揮命令又は当該本邦法人に対して当該者が負う善管注意義務が、当該外国法人等若しくは当該外国政府等による当該者に対する指揮命令又は当該外国法人等若しくは当該外国政府等に対して当該者が負う善管注意義務よりも優先すると合意している場合

（ロ） 当該者が本邦法人との間で雇用契約、委任契約、請負契約その他の契約を締結しており、当該契約に基づき当該本邦法人の指揮命令に服する又は当該本邦法人に対して善管注意義務を負う場合において、グループ外国法人等（当該本邦法人の議決権の50%以上を直接若しくは間接に保有する外国法人等又は当該本邦法人により議決権の50%以上を直接若しくは間接に保有される外国法人等をいう。以下同じ。）との間で雇用契約、委任契約、請負契約その他の契約を締結しており、当該契約に基づき当該グループ外国法人等の指揮命令に服する又は当該グループ外国法人等に対して善管注意義務を負う場合

② 外国政府等から多額の金銭その他の重大な利益（金銭換算する場合に当該者の年間所得のうち25%以上を占める金銭その他の利益をいう。）を得ている者又は得ることを約している者

(出願書類・社会人選抜のみ)

令和9年度福島県立医科大学大学院保健科学研究科
保健科学専攻(博士後期課程)

実 務 活 動 経 歴 書

	受験番号	※
	氏 名	
年 月	事 項	

- 注：① これまでの実務経験や研究・社会活動等について、所属名、職種（役職名）、活動内容及び期間を年次順に記入してください。
- ② 本様式に直接記入するか、本様式（A4判）に準じてパソコン等により作成してください。
- ③ ※の欄は記入しないでください。

令和9年度福島県立医科大学大学院保健科学研究科
保健科学専攻(博士後期課程)

受 験 許 可 書

氏 名

生年月日 昭和・平成 年 月 日

上記の者が、令和9年度福島県立医科大学大学院保健科学研究科保健科学専攻博士後期課程
の入学試験を受験することを許可します。

令和 年 月 日

福島県立医科大学大学院保健科学研究科長 様

所在地

機関名

所属長（職・氏名）

印

令和9年度福島県立医科大学大学院保健科学研究科
保健科学専攻（博士後期課程）
健康診断書

				受験番号		※	
ふりがな 氏名				大学 学部 学科 年 月 卒業 / 卒業見込			
診断事項							
視力		右 ・ (・)		運動障害	有 () ・ 無		
		左 ・ (・)		言語障害	有 () ・ 無		
聴力		右 ・ 左		その他の障害	有 () ・ 無		
主な既往症と罹患時の年齢	肺結核		才	血液疾患	才	現在罹患している疾病	入学後の健康管理上注意すべき疾病の有無とその内容
	その他の結核疾患			リウマチ	才		
	()		才	神経疾患	才		
	気管支喘息		才	精神病	才		
	心疾患		才	その他	才		
	腎疾患		才	()			
	肝疾患		才				
医師の総合所見	(問題点)						
	1. 健康であり修学にさしつかえない						
	2. 多少の問題もあるが修学に耐えられる						
	3. 修学に耐えられない						
診断の結果上記のとおり相違ないことを証明する。							
年 月 日							
住 所 (所在地)							
医 療 機 関 名							
医 師 の 氏 名							
印							

(注) 本書の記入は裏面の「記入上の注意」によること

記 入 上 の 注 意

- 1 ※印欄は、記入しないでください。
- 2 視力の欄のかっこの右側には近視・遠視及び乱視の別を記入してください。
- 3 聴力の欄は、異常の場合はその内容を具体的に記入してください。
- 4 運動障害（小児まひによるものを含む。）、言語障害の欄は、障害の有無を○で囲み、具体的内容を記入してください。
- 5 その他の障害の欄は、上記の2・3・4以外の障害について、その有無を○で囲み、具体的内容を記入してください。
- 6 主な既往症の欄は、当該疾患を○で囲み、罹患時の年齢を記入してください。
例示以外の疾患で特に重要と認められるものについては、その他の箇所に疾患及び罹患時の年齢を記入してください。
- 7 医師の総合所見の欄は、該当事項の番号を○で囲み、問題点がある場合にはその内容を具体的に記入してください。
- 8 検査方法は、学校保健法施行規則によります。

(出願資格審査用)

令和9年度福島県立医科大学大学院保健科学研究科
保健科学専攻（博士後期課程）

出願資格審査申請書

令和 年 月 日

福島県立医科大学大学院保健科学研究科長 様

貴大学大学院保健科学研究科の出願資格審査について、所定の書類を添えて申請いたします。

ふりがな		生年月日	昭和・平成 年 月 日			
氏 名		年 齢	歳	性 別	男 ・ 女	
現 住 所	〒 - 電話 - -					
通 知 先	〒 - 電話 - -					
学歴（高等学校卒業以降について記入してください。）						
年 月	高等学校卒業					
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
職歴（すべての職歴を記入してください。）						
年 月～ 年 月						
年 月～ 年 月						
年 月～ 年 月						
年 月～ 年 月						
年 月～ 年 月						
免許・資格等						

令和9年度福島県立医科大学大学院保健科学研究科
保健科学専攻（博士後期課程）

研究・実務活動歴

		氏 名	
研 究 活 動 歴	研究活動歴（いずれかにチェック✓を入れてください）		有 ☐ 無 ☐
	年 月	事 項	
実 務 活 動 歴	実務活動歴（いずれかにチェック✓を入れてください）		有 ☐ 無 ☐
	年 月	事 項	

注：① 学会及び社会における活動等（各種団体や委員会等の委員等）やこれまでの実務経験や研究、社会活動等について、団体名、所属名、職種（役職名）、活動内容（研究発表等を含む。）、実務内容及び期間を年次順に記入してください。

② 本様式に直接記入するか、本様式（A 4 判）に準じてパソコン等により作成してください。

③ ※の欄は記入しないでください。

